

財政状況の分析

区 分	内 容
財 務 上 の 特 徴	本市は、埼玉県のほぼ中央、東京都心から約50kmに位置しており、昭和50年代以降の首都圏の拡大に伴って、人口も急増した。ただ、ここ数年は、9万人前後で推移しており、大幅な増減はみられない。また市内には、東松山工業団地を有し、各種製造業をはじめ、自動車部品加工業の集積地を形成している。そういった中、最近では、景気回復の前兆も見受けられ、法人市民税が増加傾向にあるが、少子高齢化など社会情勢の変化により、扶助費の伸びが顕著であり、財政を取り巻く環境は年々厳しさを増している。とりわけ、経常収支比率や義務的経費比率など財政の硬直化を示す比率が伸びてきている。
財 政 運 営 課 題	課 題 税収入の確保 市税については、コンビニ収納等の納付窓口の拡充を行い収納率の向上を図るとともに、企業誘致を積極的にを行い増収を目指す。
	課 題 定員管理及び給与の適正化 「東松山市定員適正化計画」に基づき、平成22年4月までの3年間で、約3% 24人を削減する。給与については、各種手当を見直しながら適正化を維持し、人件費の削減を図る。
	課 題 歳出の削減 物件費・維持補修費・補助費・普通建設事業費などの歳出については、外部評価も含めた行政評価システムを活用して、総点検を行いながら削減を進める。
	課 題 受益者負担及び補助金の適正化 公平の観点から、受益者負担の見直しをするとともに、補助金等についても必要性や有益性を検証しながら、適正化を図る。
	課 題 地方公営企業の経営健全化 中期経営計画の策定や行政評価を実施するとともに、それらを情報開示しながら、健全で透明性の高い企業経営を目指す。
留 意 事 項	

注1 「財務上の特徴」欄は、人口や産業構造、財政構造や地域特性等を踏まえて記載すること。また、財政指標等について、経年推移や類似団体との水準比較などをし、各自工夫の上説明すること。

2 「財政運営課題」欄は、税収入の確保、給与水準・定員管理の適正合理化、公債負担の健全化、公営企業繰出金の適正運用、地方公社・第三セクターの適正な運営等、団体が認識する財政運営上の課題及びその具体的施策について、優先度の高いものから順に記載する。また、財政運営課題と認識する理由を類似団体等との比較を交えながら具体的に説明すること。

3 「留意事項」欄は、「財政運営課題」で取り上げた項目の他に、財政運営に当たって補足すべき事項を記載すること。

4 必要に応じて行を追加して記入すること。